令和4年1月発行 第59号 発行：京都府立林業大学校（隔月発行）

京林大だより

No.59

絵:卒業生 熊走君

三林大交流伐木選手権 総合優勝！！

将来の林業の担い手となるべく林業大学校で学ぶ学生同士の交流及び安全意識と技術・知識のより一層の向上を目指すことを目的とした「第７回伐木選手権」を11月19日(金)にスチールの森京都で開催しました。

伐木選手権には、当校の他、岐阜県立森林文化アカデミー及び長野県林業大学校の２年生42名が出場。当日実施した7つの競技は全てチェーンソーやロープを使用した伐木や造材の技術を必要とするもので、参加者は他校の力量に大きな刺激を受けつつ、それぞれが持てる力を存分に発揮しました。

その結果、日頃の実習の成果を発揮し、今年度の総合優勝を京林大が勝ち取りました。

参加者全員で記念撮影
（左側が当校）

枝を払う技術を競う

丸太を切る技術を競う

チェーンソー組立技術を競う

ロープを上げるスピードを競う

伐倒方向を決める技術を競う

丸太を薄く切る技術を競う

伐倒技術を競う

「第6回林大祭」を開催しました

昨年12月5日（日）に、地域や林業関係者の皆様と林業大学校との交流を目的とした「第6回林大祭」を開催しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、地元の方々や家族連れなど230名余りが来場されました。来場者は木のつり橋やブランコ、木のオセロなどのアトラクションや、リースやコマ作りなどの木工教室を体験し、コロナを吹き飛ばして楽しんでいただけました。

また、近隣のお店の方々による模擬店の食べ物は、とてもおいしく飛ぶように売れていました。

企画から準備、本番までを1年生（10期生）中心に行いましたが、多くの皆様の御協力により、無事開催ができましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

今月の授業参観

『九州視察研修』

例年、世界の森林・林業を学ぶため「ドイツ研修」を行っておりますが、今年度もコロナ禍の影響で渡航できないことから、昨年に引き続き国内の林業地を視察することとなりました。

12月13日(月)から17日(金)までの日程で、九州地方の有名な林業地である大分県日田市、熊本県小国町、宮崎県日向市の事業体や木造施設の視察及び阿蘇山のトレッキングという内容で行いました。

木質バイオマス発電所や木材市場では、規模の大きさに驚くとともに、木材の循環利用や木育まで、地域一体となって取り組んでいることがとても参考になりました。また、我が国初の木造立体トラス構造による大規模な木造公共施設を見学して、木材利用の大きな可能性と先人の熱意を感じるとともに、広域森林組合における積極的な機械化による作業の効率化の事例など、大変有意義な研修になりました。

校長室より

年頭のごあいさつ

校長　森　敦司

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から京都府立林業大学校の運営に格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、その対応に追われた１年でした。毎朝の検温から始まり、マスク、換気、消毒、また授業ではドイツ研修の中止、その他研修・行事の中止や縮小などコロナに振り回されたところです。なんとかこれまで、学校関係者にコロナウイルス感染症の発生はありませんでしたが、在校生には、入学当初から通常とは違う不便な思いを強いているところです。

こうした状況の中でも、学生が目指す森林・林業の世界に明るい兆しが見えたことがありました。それは、国により「2050年カーボンニュートラル」の宣言をされたことです。これは、2050年には地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量を吸収量とトータルしてゼロにするというものです。温室効果ガスの中でも温暖化への影響が最も高いとされる二酸化炭素の吸収源として、森林が大きな役割を果たします。森林の樹木が二酸化炭素を吸収し、酸素を放出すると同時に炭素を貯蔵します。また、貯蔵された炭素は、森林から生産された樹木（木材）を建築物等で利用することにより長く貯蔵できるからです。国もカーボンニュートラルにむけたグリーン成長戦略を掲げ、木材の利用拡大を盛り込んでいることから、今後ますますの木材需要の増加が期待されます。

来る2050年が森林・林業界にとって輝かしい未来になることを信じ、本校の学生が仕事にも地球温暖化防止にも大活躍できる人材となるよう指導してまいりますので、本年も皆様の御支援、御協力をお願いします。

編集・発行　京都府立林業大学校 〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄1　TEL.0771-84-2401　FAX.0771-84-0797
ホームページ：http://www.pref.kyoto.jp/kyorindai/　E-Mail: kyo-rindai@pref.kyoto.lg.jp